

令和6年度 資金運用実績について

国立大学法人徳島大学

【運用方針】

運営費交付金等の削減により将来的な収入財源の縮小が予想される中、国立大学法人法の改正（平成28年法律第38号）を受け、従来からの元本保証のある金融商品による運用に加えて、リスクは伴うが、より収益性の高い金融商品による運用が可能となりました。

本学では、教育研究等の中長期的な財政基盤の強化を図るため、令和2年度から当面支払予定のない寄附金等の余裕金を原資として、安全性及び流動性に十分配慮したうえで、より収益性の高い金融商品へ運用を拡大し、安定した利息収益の確保を目指しています。

1 資金運用管理委員会の開催状況

第1回（令和6年4月3日開催）

第2回（令和6年5月27日開催）

第3回（令和6年9月24日開催）

第4回（令和6年12月19日開催）

第5回（令和7年3月11日開催）

2 資金運用実績

区 分	商品種別	令和6年度 運用収益	令和5年度 運用収益	対前年度 増減額
短期運用	定期預金	8,618千円	8,729千円	▲110千円
	譲渡性預金			
	金銭信託			
中・長期運用 （1年超の運用）	公共債	84,376千円	46,926千円	37,451千円
	電力債			
	事業債			
	外国債			
	投資信託			
合 計		92,995千円	55,654千円	37,341千円

※運用収益については、当該年度中に利払があったものを計上しています。

※単位未満で四捨五入を行っているため合計が一致しない場合があります。